

社会人のための情報システム誌  
— 経営近代化のシステム研究 —

# Computer Report

# 6

2019 No.777

## 3 はじめの言葉

### 4 情報社会を考える その 105

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか 編集部  
問題発言の原点

北朝鮮による日本人拉致および弾道ミサイル発射問題、中国による南沙諸島での軍事基地拡張、韓国による竹島不当占拠問題、沖縄でのアメリカ軍事基地問題、ロシアによる不当な北方領土占拠問題と、日本と周辺国家関係の問題は数多い。日本／日本人として悩み多き環境にあることは確かだ。こうした不快指数ならぬイライラ指数の高くなっている周辺国際環境にあって飛び出したのが、北方領土問題をめぐる丸山穂高衆議院議員のとりでも発言だった。北方領土問題は、日口間に残っている第二次世界大戦の負の遺産である。不当に四島から追い出されたままの元住民にとって、一日も早い原状回復＝元の形の生活確保は切なる願望となっている。世界的にも、世紀を越えての長きに渡る不当な権利問題として、各国各地で原住民の権利保護／権利回復を目指す動きが活発化されている。

### 6 デジタルガバメント DG17

デジタル政府の展開 その 16 水田 浩

デジタル化は人々の生活の質を向上させる。2018年1月16日に日本政府もデジタルガバメント実行計画をeガバメント閣僚会議で決定した。この計画は、28年1月16日から2023年3月31日までの計画である。2018年上半期を目途に各府省庁における中長期の戦略的な計画を策定をする。電子政府はICTを使って政府側から国民に行政サービスをより早く、より安く、より良くするのが目的だがデジタルガバメントは顧客（国民、企業、職員）側から政府の行政サービスを探し易く、繋がりやすく、何時でも何処からでも誰でも使えることを目的としている。

### 13 連載 アーキテクチャ論 (98)

ArchiMate のビジネスモデル表現能力 山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 大学院 情報学研究科 教授

ArchiMate は Enterprise Architecture(EA)の多様な概念を図式化できるモデリング言語である。本稿では、ビジネスモデルを図式化する手法に対する ArchiMate の表現能力を明らかにする。

## 2 6 連載 情報システム考

### 企業情報システムの変遷と行方 第 21 回

Dr.ベスト

昨今、クラウド、ビッグデータ、AIなどをベースとした情報システムが社会的規模で普及する中、それらのシステムを各企業規模すなわち自社（社員）レベルでコントロールできない状況へと進展している。換言すれば、「情報システムのコントロール不可、すなわちアウトソーシング依存現象」である。企業にとって情報システムは、企業の神経／血液そのものであり、コンサルタントや弁護士に限定された範囲での業務を委託したり、物流や警備をアウトソーシングするような対象のものではないはずである。

## 3 2 IT 新時代とパラダイム・シフト

### 第 115 回 AIによるフェイク動画が

世界を変える

根本忠明

欧米各国で、ディープフェイクという巧妙なフェイク動画が、衝撃をもたらしている。政治家や映画女優の顔を入れ替えた本物そっくりの動画が出回り、被害も出ている。このディープフェイクは、ポストトゥルース時代を深刻なものにするかもしれない。逆に輝く未来を切り開いてくれるかもしれない。そこで注目されている新技術がGANsである。本稿は、これらの話題を取り上げて紹介することにしたい。

## 3 5 続インテリジェンスへのいざない 112

### フェイク情報を超える情報管理サイクル

今井 武

情報解釈の妙

米国の某大学に就職しようとした女性に、面接官は「当大学の女性職員の67%は、当大学の教授と結婚している」と述べた。これを聞いた女性は、その大学に就職できたら、将来的に教授になる男性と結婚できるかもと喜んだ。だが、この大学の女職員は、たったの3人で、そのうち2人の結婚相手が、この大学の教授だったということだった。つまりは、2人の女性は、もともと、ある面で特別な女性だったのだ。

## 3 7 連載 「まるで漫画」シリーズ

すぎやまチヒロ

(毎週アップデートされる「まるで漫画シリーズ」 ホームページをご覧ください。)

## セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における  
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで  
株式会社 日本経営科学研究所  
ComputerReport編集部

[cr-info@jmsi.co.jp](mailto:cr-info@jmsi.co.jp)

# CR 選書のご案内

## CR選書

**改訂版**  
**データ・ウェアハウス**

定価 本体 2,000円＋税 送料(〒300)  
A5版 289頁

石井義興 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 EUCが必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータウェアハウスサポート
第二章 データベースとデータウェアハウスの関係	第八章 データウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータウェアハウス	第九章 データウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとテスト・リレーショナル・モデル	第十章 データウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正確性の問題点とデータウェアハウス	付 録
第六章 データウェアハウス管理システム	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**実践データ・ウェアハウス**  
**OLAP**

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)  
A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 これまでのEUCにできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構築
第三章 Code駆動によるOLAPプログラムの評価	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析集計の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の影響	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付 録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

## CR選書

**消費者行動論**

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)  
A4版 301頁

田原文夫 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動ピクセス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第八章 人間であること(人間行動ピクセス)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

aism 研究活動報告  
**インターネットセキュリティの**  
**落とし穴**

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)  
A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修  
aism情報セキュリティ・マシナリ研究会 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM KO FIZの組織と基本記
第二章 aism情報セキュリティ研究会の設立	第十二章 メールが漏れかGTL
第三章 認識される電子署名方式の基本論	第十三章 自ネットワーク利用のための情報オーナーの認識
第四章 署名を掛け付けたCodeRedフレーム	第十四章 最近のインターネット新情報セキュリティ対策
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 日万バリエーションの高基と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 WORM(バーチャル)フレームワーク	第十七章 ケーススタディ情報セキュリティ教育I
第八章 aismの2007年度の事業活動	第十八章 情報セキュリティ情報にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ研究会の意見と提議	
第十章 インターネット環境の発展と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

## CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！  
**トップ主導の**  
**情報システム革新**

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)  
A4版 271頁

高田 顯重 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 食糧問題のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**計量モデルの構造と解法**  
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 2,000円＋税 送料(〒300)  
A4版 212頁

安田 聖 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分類方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方規式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計算方法	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

## CR選書

**『いざ！というときの得広報』**  
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,400円＋税 送料(〒300)  
A5版 280頁

加藤 洋一 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

■ 広報ビジネスの発展条件	■ 変革も企業体質
■ ニュースリリースは東方向優先	■ 守るも成るも広報が窓口
■ 数字目標の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編I」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	＜付＞記事とどう付き合う十六の原則(上と下)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**ザ・ワールドリンク**  
がんばれ、国産グローバルサーバー  
—EM社会に根ざす国際情報システム作りの物語—

定価 本体 1,800円＋税 送料(〒300)  
A5版 269頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 変遷	第十一章 日本開発手法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 某チーム前後の発展
第三章 国産システムへの働き	第十三章 新たな陣っ手
第四章 W3Cに向けて	第十四章 某チーム開発と新たな展開
第五章 F、C、B編成	第十五章 国産システムとネットワーク
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本開発体制と本業開発日程
第八章 某チーム立ち上げの誤れ	第十八章 国産システムとのデータ交換の課題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 開発その一 前編、開発の苦しみ
第十章 某チーム、壁となる三人組	第二十章 開発その二 実装開発と企業センター稼働

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)